

## 平成 28 年度東日本支部「地方審査員審査技術研修会」の開催報告

- 1 日 時 平成 29 年 1 月 21 日（土）10：00～16：00
- 2 会 場 東京都板橋区立志村コミュニティセンター
- 3 受講者数 127 名
- 4 内 容 ① 講義 段位認定事業部長 加藤 憲  
一般社団法人全麵協の会員制度、審査員の心構え等を映像を使用して説明  
段位認定普及部会長 落合輝美  
主に審査技術に関する説明

### ② 模擬審査

受講者数が多いことから受講者を 12 班に分け、会場内に打ち台 12 台、12 人の試技者に対して模擬審査を実施した。

班長に全国審査員及び地方審査員の内五段位認定者を班長として各受講生の審査結果をデスカッションをし、その結果を班長が順次全員に報告をし、質疑応答の上、加藤部長と落合部会長からとりまとめの評価をいただいた。

受講者からは「審査員の見方によって判断が分かれることがよくわかり、受験者のために慎重な審査が求められることを理解し審査技術の向上に努めなければならないことを実感した。」との感想をいただいた。





午後の模擬審査会場では、12人の市議者を各班が取り囲んで、受講者は真剣にメモを取っている。

## 総括

地方審査員審査技術研修会は、昨年度開催できなかったこともあり、過去最高の受講生数となった。

今までは、模擬審査も試技者は2～3人であったが、なるべく、本審査に近い状況で実施したいことから、段位認定事業部と相談しながら今回の開催内容となった。

したがって、過去の研修会に比しても講義、模擬審査とも時間に余裕をとったこともあり、受講生からは「講義、模擬審査とも中身の濃い研修会であった。」との好評を得ることができた。

しかしながら、実施方法等について下記の課題も感じており、今後、この研修会を、多くの審査員が参加でき、実り多い内容とすることを、段位認定事業部との連携により実現していかなければならないと感じている。

1 多くの審査員が参加できること。

年度に1回、1会場ではその日程に合わせられない審査員が生じてしまう。

さらに、会場によっては、遠方で宿泊を余儀なくする方もあって、負担が大きい。

2 100人を超える研修会は、開催できる会場に限りがある。

単に講義だけならホール等で開催すればよいが、実技の伴う研修は相当規模の会場と道具が必要であり、会場設営、運営、経費の面で負担が大きい。

特に、東日本支部は4支部で最も多い180人を超える審査員数であり、会場設営に限界が出てきている。

今回は、江戸流手打ち蕎麦 二・八の会が中心になって会場設営から模擬審査の試技者の確保まで協力していただき円滑な開催ができたことに感謝申しあげ報告とさせていただきます。

一般社団法人全麺協 東日本支部長 阿部成男